

# お客様の声にお応えし、どんなものでも作成します 独自技術で低コスト、 短納期に精密板金加工会社 こだわる

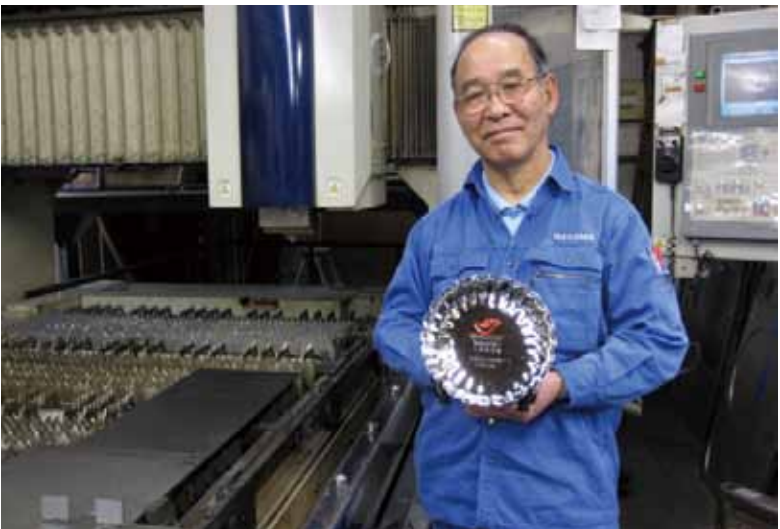
葉山工業

葉山工業(川崎市高津区野川、千葉忠夫社長、044・788・0297)は、30年以上の業歴を持ち、精密板金加工一筋、

確かな技術力で取引先から絶大な信頼を得ている会社である。千葉社長は川崎市で「ものづくり」に関して極めて優れた技術、技能を持つ技術者が認定される、「川崎マイスター」に今年度認定を受けており、その技術力は多方面で認められている。

現在手掛けている品目は、オーディオ関係、携帯電話の部品、自動車関連部品、さらには、防衛庁・戦闘機関連、医療関係と多岐に亘り、高品質で短納期が要求される製品が中心となっているが、これには理由がある。同社は試作製品の作成において、独自技術を用いた簡易金型をメインとして使用し、試作製品を作成している。簡易金型を使用することにより、他社に比べ低コスト、短納期でなおかつ試作に特化したハイクオリティで顧客のニーズに沿った製品を提供することができるのだ。

精密板金加工業は、受注先から図面をもらい、それに従い製品を作成するのが通常の流れであるが、同社は図面が無い場合でも受



「川崎マイスター」の楯を手にする千葉社長

注先の希望をヒアリングし、社内でアイデアを出して図面データを作成、加工する技術も持っており、同業他社と差別化を図っている。この技術については、現在工場長で千葉社長の息子の千葉忠実氏が手掛けているが、忠実氏は、「時代に合わせ臨機応変にやり方を変えていかななくてはならない。今は不景気かもしれないが、とにかく考えて動く事が大切であり、不景気を理由に何もせずにいると今の時代は生き残れない」と語る。

社長が長年積み上げ、工場長が時代に合わせて展開してきた技術力の結晶が、お客様のニーズに沿った「ものづくり」への原動力になっている。